Sep.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適用規格				
定格	使用温度範囲	−55℃ ～ +85℃ (1)(2)	保存温度範囲	−10℃ ～ +60℃ (3)
	使用湿度範囲	相対湿度90%以下 (2)(4)	保存湿度範囲	相対湿度70%以下 (3)(4)
	電圧	DC/AC 300V		
	電流	70A（温度上昇値30℃以内） ⚠1		

性能

	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視,寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	接触抵抗 [EIA-364-23]	100mAで測定する。	2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 嵌合相手:IT-PM-2S-DIR,IT-PD-2S-DIR	○	−
	絶縁抵抗 [EIA-364-21]	DC500Vで測定する。	1000MΩ 以上	○	−
	耐電圧 [EIA-364-20]	AC1000Vの電圧を1分間印加する。 (漏洩電流2mA以下)	せん絡･絶縁破壊がないこと。	○	−
機械的性能	総合挿抜力 [EIA-364-13]	適合コネクタで測定する。	1)挿入力: 50Ｎ以下 2)抜去力: 3Ｎ以上	○	−
	繰り返し動作 [EIA-364-09]	100回の抜き差しを行う。	1)接触抵抗:2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2)破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐振性 [EIA-364-28]	周波数50 ～ 2000 Hz,加速度スペクトル密度 0.1g^2/Hz,3軸方向各90分試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて上下の基板固定する	1)1μs以上の電気的瞬断がないこと。 2)破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐衝撃性 [EIA-364-27]	加速度490m/s^2, 持続時間11ms, 3軸方向各3回試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて上下の基板固定する。		○	−
環境的性能	熱衝撃 [EIA-364-32]	温度(℃) −55→20～35→85→20～35 時間(分) 30→ 5MAX →30→ 5MAX を10サイクル試験する。	1)接触抵抗:2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2)絶縁抵抗:100MΩ 以上 3)破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	温湿度サイクル [EIA-364-31]	温度25℃,相対湿度80%:60分 ↓ 30分 温度65℃,相対湿度50%:60分 を24サイクル試験する。		○	−
	耐熱性 [EIA-364-17]	温度105℃中に120時間放置する。	1)接触抵抗:2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2)破損,ひび,部品のゆるみがないこと。	○	−
	4種混合ガス [EIA-364-65]	温度30℃,相対湿度70% Cl_2:10ppb, NO_2:200ppb, H_2S:10ppb, SO_2:100ppb 未嵌合放置7日間 → 嵌合放置7日間	1)接触抵抗:2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2)機能を損なう様な腐食等の異常がないこと。	○	−

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
⚠1	1	DIS-F-00020361	TH.SANO	TY.TAKADA	20240508

備考
注1. 通電時の温度上昇を含みます。
注2. 使用湿度が80%を超える場合の使用温度範囲は-55～+55℃とします。
注3. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。
注4. 但し、結露しないこと。

試験規格の記載のない試験方法は 'JIS C 5402(IEC-60512)' を適用している。

承認	MK.EZAKI	20130107
検図	MK.EZAKI	20130107
担当	MK.NAGATA	20130107
製図	MK.NAGATA	20130107

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目

図番	SLC4-339735-01		
製品名	IT-P-2P-35H(11)		
製品ｺｰﾄﾞ	CL0636-0602-2-11	⚠1	1/1

HRS 製品規格表 ヒロセ電機株式会社

技書規２３１－１